

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域に、 の「関心・意欲・態度」の観点を設けています。該当する領域において、 に示したような「関心・意欲」の見える言語活動を行っていれば、加点するという考え方で配点しています。

大問②には、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」をまとめて出題していますが、「書くこと」の領域においても、関連する問題を設定しています。

[illegible]

大問領域等		3		4									
中間	小問	読むこと		書くこと									
準備	20	(1)	(2)	(3)									
やや満足及び概ね満足できる解答状況	21	(2)	(3)	(1)									
配点	22	(3)	(2)	(1)									
○ 感想の根拠となる一文を読んでいるが、一文を抜き出していない。 ・ まるでかわいがっている子猫の背中をなでるように 等	5	○ 次の二つの観点について、それぞれの配点で採点する。 ① (はじめ、エリカは機械のことを) 単なる道具で、命がないと思いきんでいたことを読み取っている。 ② 工場長さんの話を聞いて、機械も生きていることにエリカが気づき、これまでの自分を反省していることを読み取っている。 ○ エリカの心情についての感想を書こうとしている。 2	5	○ 次の二つの観点について、それぞれの配点で採点する。 ① 一文が長いことを指摘している。 ② 「インフルエンザ」という、大事な言葉を使っていないことを指摘している。 ○ 次の二つの観点について、それぞれの配点で採点する。 ① ア、イのグラフから予防が必要ないと書いている。 ② 睡眠の大事さについて書いている。 ③ 予防の方法について書いている。 ③ 文末に気を付けて、予防を呼びかける文章を書いている。 ○ 誤字脱字がないように書いている。 ○ 記載内容にそって、呼びかけの文章を書こうとしている。 2	3	○ 二つのグラフから分かることを書いている。(インフルエンザで学校を休む人は) 一月から急に増える。 三学期に多くなる。 十二月から出はじめる。 等	6	○ 上記二つの観点を両方満たしている。 ・ 一文が長く読みにくいので、いくつかの文に分けて書くことよい。 ・ 「病気」ではよく分からないので、「インフルエンザ」という大事な言葉を使って書くことよい。 等	4	○ 上記四つの観点を全て満たしている。 ・ 例年十二月からインフルエンザで休む人が出てくるので、すいみんをしつかりとつてつかれをとり、生活のリズムを整えて、元気な体におきましょう。そして、インフルエンザにかからないように予防をしましょう。予防の仕方は、いろいろあります。自分にできる方法から、やってみましょう。 インフルエンザにかかるまえに、まず予防です。 ○ 句読点を適切に打ち、誤字脱字がない。 ○ 記載内容を整理して、自分の考えを入れたがら、呼びかける文章を書こうとしている。 3	10	25	25